



きっしょうじあとおよびかいざんとう
吉祥寺跡及開山塔

乙原 個人所有 ほか

市指定史跡（寺址）

昭和 42 年 4 月 11 日指定

吉祥寺は南北朝時代の康永元年（1342～興国3年）に大友氏
8代の氏時（諡号は吉祥寺殿前刑部郎中神州天祐）が創建した寺
である。寺址は海拔 140 m の乙原台地上おとばるにあり、吉祥寺庵・月
見石五輪・にゅう塚などが往時を物語っている。写真の開山塔
（無縫塔）には「当寺開山昌華祐公大和尚 貞和三年丁亥一月廿
一日」（1347）と刻まれ、また同所に建立されている宝篋印塔ほうきょういんとう

にも「文和四乙年大友氏時之塔、二月廿一日」（1355）と記銘されているが、これには後刻との説もある。しかし、塔の形態は南北朝期の特徴を良く示している。 （小玉 洋美）